

令和3年度 第2回「三条市勤労青少年ホーム運営審議会」会議録

令和4年4月12日調製

1 日 時	令和4年3月17日（木） 午後2時開会
2 場 所	三条市勤労青少年ホーム 音楽室兼集会室
3 出席委員	小林会長、馬場副会長、相田、石川、泉、長橋、駒形の各委員
4 欠席委員	丸山、池田、金子、佐藤の各委員
5 説明のため の出席者	佐藤館長、吉田事務長、諸橋主任
6 所管課	片野商工課長、五十嵐主任
7 傍聴者	なし
8 報道機関	なし
9 議事内容	(1) 令和3年度活動状況について (2) 令和4年度活動方針及び事業計画について (3) その他
10 会議の経過及びその結果	
小林会長	<p>これより令和3年度第2回勤労青少年ホーム運営審議会を開会いたします。</p> <p>本日の出席者数は現在7名、欠席者数は4名です。</p> <p>はじめに三条市勤労青少年ホームの佐藤館長から挨拶をお願いします。</p>
佐藤館長	<p>年度末のお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>この審議会は年2回開催しており、年度末の今回は、今年度の活動報告と次年度に向けての取組について御協議いただくこととしております。</p> <p>コロナ禍も3年目に入り、感染者数の大きな減少はないものの手探り状態ながらなんとか対応の仕方がわかってきたのかと感じているところです。また、世界情勢に目を向けるとウクライナの状況が報じられており、いろんな面で皆様方にも影響が出ているのではないかと考えております。</p> <p>当施設も喫茶コーナーが年の途中で休みと再開を繰り返したり、イベントも中止若しくは変更などを余儀なくされた1年でした。</p> <p>こういう状況で年度末を迎えたわけですが、委員の皆様方からはどうか忌憚のない御意見を頂戴し、次年度に向けて御指導願えればと考えております。よろしく願いいたします。</p>

小林会長	ここで、第1回の運営審議会に欠席された馬場副会長から自己紹介を兼ねてあいさつをお願いいたします。
馬場副会長	私は、三条金物卸商協同組合からの推薦で出ておりますが、任期が5月までとなっております。したがって、6月からまた新しい委員に引き継ぐこととなりますのでどうかよろしくをお願いいたします。
小林会長	それでは、これから議事に入ります。 次第3議題(1)「令和3年度活動状況について」を議題といたします。 事務局の説明を求めます。
吉田事務長	資料により説明
小林会長	事務局の説明に対して、馬場副会長から順に発言をお願いします。
馬場副会長	コロナ禍の影響が徐々にではあるが緩和されているように思います。今後ますますコロナ禍前の状況に近づき、活動が盛り上がっていただければと考えております。
小林会長	利用者数などの状況を昨年度と比べると改善してきている感はあるが、コロナ禍以前と比べるとどうなのでしょう？
吉田事務長	昨年度利用者数の落ち込み大きかった状況であったのに比べると今年度は、コロナ禍にあっても極力実施する方向で続けてきたのでこういう数字になっていると思います。しかしながら、コロナ禍以前の元年度利用者数が約2万人ということを考えると現状(約1.4万人)の数字はまだまだ少ないと思います。
相田委員	利用者代表として各種行事の感想等を述べたいと思います。 五十嵐川ラフティング体験交流会は、飲食を伴うような催しが難しい中、ラフティング体験後にいい湯らていや嵐溪荘の温泉に入ることができ、ソレイユからの参加費の補助もあり好評でした。 ソレイユ祭ですが、今年度は前夜祭に高校生のバンドが出演し、その子たちの友達などが多数見に来てそれが参加人数の増加につながったと思います。若年層の利用が将来的にこの施設を利用するなど良い影響を与えてくれると思います。 クリスマス交流会では、外部からの演奏者の他に外国人のための日本語講座を受講されている方からの演奏や祖国の踊りが披露されるなど大変良い交流の機会になったと思います。

	<p>それと、講座の中でとても人気の講座があり、募集を開始するとすぐに定員に達するものがあります。現在受講されている人が継続して受けたくてもキャンセル待ちになってしまっております。ソレイユの方で土曜日にも企画していただいていると聞いておりますが平日でないと行けないという人もいますのでなんとか対応をお願いしたいと考えております。</p>
小林会長	それはズンバ講座のことですか？
相田委員	そうです。
吉田事務長	<p>ズンバ講座の申込は、受付開始日の午前中で定員に達する状況でした。コロナ禍にあって定員を大きく増やすことはできません。そこで講師と相談した結果、土曜日の講座を追加で開設することにしましたところでは。</p> <p>平日でなければだめという方に対しては、1コマの時間が45分（現在60分）であれば2コマ同じ日に実施可能ということ講師から伺っておりますので、今回申し込まれた方の状況を見ながら次回募集の際、検討したいと考えております。</p>
小林会長	定員をオーバーしているというが、実際はキャンセル待ちが20人、30人というような数ですか？
吉田事務長	現在キャンセル待ちとして登録している人は4人です。申し込まれる方は、受講することを前提にしているのでキャンセル待ちの方が複数いると聞いて諦める方が多いのが実態です。この講座に関しては、募集すれば相当数の方が申し込まれるだろうと考えております。
泉委員	先回の会議でライン公式アカウントの開設を提案したところ、早速11月から開設いただきありがとうございました。友達登録は何人くらいでしょう？
吉田事務長	開設間もないこともありますが、現在32人の登録者数です。

長橋委員	<p>登録者数があまりに少なくてびっくりしています。もっと広報した方が良いと思います。</p> <p>ソレイユ祭には、できる限り来るようにしており、今年のステージ発表も良かったと思いますが人数が少ないように感じました。近くの嵐南公民館の文化祭と同じ日ということが過去に何度かあったと記憶しております。また、今年はお茶会がなかったと資料にあります。そういうことが来場者数にも関係したのではと思いました。</p> <p>ソレイユ祭では、開場と同時に行列ができていてなかなか入れませんでした。入場の際に先ず氏名を書くというところで詰まっていたように思います。検討資料にあるように順番を変えた方が良いと感じました。</p> <p>それと、消毒液がポンプ式であるが足踏み式にした方がいいし、設置場所もわかりやすくした方がいいと思いました。</p>
吉田事務長	<p>ソレイユ祭の来場者数については、委員御発言のとおり茶会がなく、茶席券の販売がなかったことで100人程の影響が出ていたと考えております。来場者数を増やすという視点に立てば様々なことが考えられますが今回は適正規模での開催を目指したものです。</p> <p>また、ソレイユ祭入場の際の対応については、スムーズに御来場いただけるよう改善したいと思います。</p> <p>消毒液の設置については、ポンプ式より足踏み式の方が感染リスクが低いので足踏み式に入れ替える方向で設置していきたいと考えております。</p>
小林会長	まだしばらくは感染対策が必要ですね。
石川委員	LINEのアカウントが2つあります。どちらがメインなのでしょう？
吉田事務長	古いアカウントを残したままでしたので、使用しないアカウントは削除します。
駒形委員	中国語講座とズンバ講座が新しく増えたとのことですが、講座を増やすというのはどのような判断をもとに増やすということを決定しているのですか？
吉田事務長	中国語講座は、令和3年度の講座を計画する際に委員の方からひとつくらい少人数の講座があってもニーズがあれば開設した方がいいのではないかという御意見により定員5人という少人数の講座を敢えて開設したものです。ズンバ講座は、令和元年度まで非常に人気がある

	講座として開設していたのですが、講師の先生の御都合で1年間休んで今年度復活して開設となったものです。
小林会長	新しい講座は、ソレイユの方で決めるのかそれとも利用者のニーズ等によって決めるのですか？
吉田事務長	アンケート調査等によりニーズを把握、講師との相談、会場の調整というように進めております。
小林会長	次に、議題（2）「令和4年度活動方針案及び事業計画案」について説明をお願いします。
吉田事務長	資料により説明
小林会長	今度は、駒形委員から順に発言をお願いします。
駒形委員	女子力UP講座の名称について、男女の役割に固定観念を与えるという意味で変更したとの説明ですが、参加者の男女比はどうなっていますか？
吉田事務長	参加者は、全員女性です。女性だけの講座にしたいという参加者の意向でそのような名称にしたという経緯があります。 その前は、花嫁修業講座という名称だったと聞いております。
石川委員	講座の名称について対応いただき、ありがとうございました。
長橋委員	講座一日体験フェスの参加者が10名ほどということですが新年度の申込につながった人はいますか？
吉田事務長	10名中2名が申し込みされました。 1回の体験で3つの講座を体験できることから、その体験だけを目的に参加される方もおられます。
泉委員	卓球の無料開放やスポーツ無料開放デーは、小学生を対象としたものですか？
吉田事務長	多目的ホールが空いている場合は、小学生の遊び場としてホールを開放しております。 卓球の無料開放とスポーツ無料開放デーは、年齢に関係なく開放しているものです。

相田委員	20歳代の人と一緒にあったことがありません。若い方はどのような理由でソレイユを利用されているのでしょうか？
吉田事務長	余暇時間の中で気に入った講座があるとか友達に誘われたとかという理由で利用されていると考えております。
相田委員	特にどの講座ということではなく、興味もバラバラということですか？講座だけでなく、活動しているサークルなども含めて特徴的なことが分かれば若い方々からももっと利用していただけるようになるのかなと思います。
吉田事務長	委員がおっしゃるとおり施設を利用する上での動機など、よく注視して若い人の利用促進につながるような取組をしていきたいと思えます。
小林会長	講座受講者の中にも若い方はおられますか？
吉田事務長	ネイティブ英会話やはじめての中国語講座には、学生の方もおられます。
馬場副会長	アンケートをよく見てみると20歳代、30歳代のニーズに応えるような講座がないように思われます。独身又は子育て世代になるでしょうか、そういう世代に向けた講座があると良いと思えます。 利用者を増やすという視点では、活動方針にあるとおり小中学生に利用いただくことで、青年期になっても馴染みの施設として印象付けることがそこにつながるのではないかなと考えます。
吉田事務長	アンケート調査等により若者のニーズを把握し、勤労青少年の施設利用や行事への参加が促進されるような取組を進めていくことが大切と考えております。
小林会長	子育て世代に向けた講座としては、どんなものがあるでしょうか？
相田委員	子ども連れで来て良い、というような講座があるといいのでは？それと、時間帯ですが日中の方が出かけやすいと思えます。(育児の)ストレス発散の場とか…
石川委員	例えば、料理教室を親子で参加していただくとかが考えられます。

長橋委員	子育て世代と言っても小学生くらいになると習い事の送り迎えなどが忙しくなって余裕がなくなります。そんな中でも、親子料理教室やお菓子づくり教室などは、自身も参加した記憶があるので可能かなと思います。
小林会長	そうですね、各委員からも提案がありましたがそのような視点で今後取り組んでいかれたらどうでしょう。
吉田事務長	いろいろな御提言ありがとうございます。委員の皆様から御指摘いただいた事柄については、今後の事業運営の中で活かしていきたいと考えております。
小林会長	最後に、(3)その他になりますが、何かありますか。 (暫くしてなし) それでは、以上を持ちまして、令和3年度第2回三条市勤労青少年ホーム運営審議会を閉会いたします。ありがとうございました。
閉会 午後3時	